



しあわせ信州 長野県(木曾保健福祉事務所)プレスリリース 平成30年(2018年)12月19日

平成30年木曾保健福祉事務所『おもなできごと』

1月 ○「信州ACE(エース)プロジェクト」の推進(1月~12月)

地域でACEプロジェクトを拡げていくための取組として、6月と9月に説明会を開催しました。また、合庁1階ロビーに地域への健康情報の発信を行うための「サークル・ACE」コーナーを設置し、健康器具等の地域への貸出しを始めました。更に、健康づくりのための階段利用を促進する「応援メッセージ」を西階段に表示しました。

○「おいしい空気の環境づくり推進 信州おもてなし事業(1月~12月)

県では、受動喫煙防止対策促進のため、終日全面禁煙の施設を「おいしい空気の施設」として認定しています。郡内では、今年新たに13件の施設が認定となり、合計82件となりました。今後も、たばこの害のない社会の推進を図っていきます。

2月 ○「木曾地区災害時医療救護訓練」の実施(2月17日、8月26日)

毎年郡内町村の総合防災訓練に併せ、災害時を想定した医療救護訓練を実施しています。

2月に木曾地域では初の試みとして、災害時に医療・救護を担う組織・機関のスタッフが、専用に開発された訓練用キットを用いて、いかに効率的に災害負傷者を救護するかを目的として木曾合同庁舎で机上訓練を実施しました。参加者からは、「実戦的な訓練で有意義」「様々な職種を交え、今後行うべき」等の意見が出され概ね好評でした。

8月には、上松町公民館をメイン会場に、住民参加による実地訓練を実施しました。上松町職員による医療救護所の設置・運営、消防団員による住民避難誘導、看護学生が負傷者に扮し、地元医師を始めとするスタッフによるトリアージ及び応急手当、消防による救急搬送等を行い、住民・関係者合わせ約230名の参加のもと充実した訓練となりました。

○「健康と食と農のつどい in 木曾」の開催(2月20日)

今年は、「伝えたい 健康・食・農への思い」をテーマに保健福祉事務所長の講演と関係団体による事例発表を行いました。木曾赤かぶネット等が主催する「赤かぶ利用コンクール」と並行して開催したこともあり、120人の参加がありました。

3月 ○自殺対策の促進(3月、9月、12月)

3月に郡内の関係者に向けた研修会・連絡会を開催し、県自殺対策計画について学ぶとともに、郡内の取組に関する情報交換を行いました。9月に県の「いのちを支える市町村キャラバン」が木曾圏域を訪問した際には、県、町村、民間団体がタッグを組んで自殺の無い「しあわせ信州」の実現を目指す意思を確認し合いました。また、12月にはこの活動の一環として関係者が協力し、「なんでも相談会」を開催しました。

○「災害時における要配慮者支援のための研修会」の開催(3月16日)

要配慮者の支援に詳しい同志社大学社会学部教授 立木 茂雄氏を講師に迎え、町村の防災担当者、福祉担当者や福祉避難所指定施設の職員等を対象として講演会を開催しました。

災害時における支援方法のイメージを深め、行政(防災・福祉)と地域が連携し、当事者力と地域力を高めながら防災力を向上させる機会となりました。

5月 ○「シニア大学木曾学部」に新入生迎える(5月9日)

今年は21名の新入生を迎え入学式が行われました。また、27名が2年生に進級しました。新入生は2年間、新たな仲間とともに学びます。

6月 ○「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」の開催(6月9日)

木曾地域に暮らす障がいのある方々が、スポーツを通じて交流する「木曾郡ふれあいスポーツ交流会」を大桑村村民体育館及び大桑村スポーツ公園で開催しました。

約90名が参加し、競技やレクリエーションを楽しみました。

10月 ○肥田亭、3つの星レストランに登録（10月2日）

県の「信州食育発信3つの星レストラン」に木曾町福島の「和庵 肥田亭」が登録されました。登録には、野菜や食塩の量など健康に配慮したメニューの提供、県産食材の利用、食べ残しを減らす取組等が条件となっており、これにより木曾地域で5店目の登録となりました。

○みんなの食品安全・安心会議の開催（10月4日）

県民、食品関係事業者及び県の関係者が食品の安全と安心に関する知識と理解を深め、情報共有・相互理解をするための会議を開催しました。会議では食の安全・安心について学習後、参加者が重大な決断を伴うジレンマのある食の問題をクロスロード（意見の分かれ道）ゲームを通じて共に考え話し合いました。最後に意見交換を行い、食品の衛生管理や販売方法について理解を深めるとともにそれぞれの立場について相互理解を深めました。

○「高校生の“食”支援講座」の開催（10月10日、15日、18日、29日）

若い世代に対する生涯にわたる健康づくりのための食習慣の普及や郷土料理・地域の食文化の伝承を目的に、県食生活改善推進員の協力により、郡内2校で延べ5講座を開催しました。48名の生徒が受講し、郷土料理の伝統と若年期からの健康的な食習慣の大切さを学びました。

○猫の飼い方教室の開催（10月20日）

人と猫が共生できる地域社会を築き、動物愛護思想の普及啓発を図るため、「猫の飼い方教室」を開催しました。猫の飼い主や猫に関心のある住民が参加して、猫の習性や正しい飼い方等について学習し、猫の適正な飼養管理、地域猫活動、猫との関わり方等の理解を深めました。

11月 ○「第23回木曾地域シニア作品展」の開催（11月13日、14日）

木曾地域の高齢者が、知識・経験・特技を生かし、趣味として制作した作品の展示会を上松町ひのきの里総合文化センターで開催しました。

235名の個人・団体の高齢者から延べ431点の展覧があり、来場者から賞賛や「刺激を受けた」という声が多数ありました。

○「社会福祉施設等における感染症まん延防止研修会」の開催（11月19日）

感染症のまん延防止を図るための研修会を実施し、社会福祉施設等の職員約100名の参加がありました。感染症の基本的な知識と嘔吐物の処理方法や手順について、演習を通して確認し、ノロウイルス等食中毒の予防方法など、発生防止、まん延防止について理解を深めました。

◎今年表彰された方々

様々な分野で、業績を高く評価された方々が表彰されました。
今後も益々のご活躍をご期待申し上げます。

表 彰	氏 名（敬称略）
長野県知事表彰（保健衛生功労者）	奥原 佐（おくはら たすく）
長野県知事表彰（保健衛生表彰：栄養改善）	武重 詩子（たけしげ うたこ）
長野県知事表彰（保健衛生表彰：食品衛生）	小倉 保文（おぐら やすふみ）
長野県食生活改善功労者表彰（個人）	野木 彌生（のぎ やよい）
長野県食生活改善功労者表彰（団体）	木曾町
長野県献血推進協議会長表彰（団体）	南木曾町
厚生労働大臣感謝状（献血推進）	中部電力株式会社木曾営業所

確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）推進中

信州ACE（エース）プロジェクト推進中

木曾保健福祉事務所 総務課
（課長）真岸 光（担当）両角 悠希
電話：0264-25-2231（直通）
0264-24-2211（代表）内線 2205
FAX：0264-24-2276
E-mail：kisoho-somu@pref.nagano.lg.jp